

Information

H.C.R. 2016出展企業・団体のみなさま 主催者企画への出展製品の展示・貸出 についてご協力をお願いしています！

H.C.R. 2016でも、展示ホール内の特設会場などにおいて、来場者への臨場感のある福祉機器の情報提供や、機器に実際に触れて、知っていただくことをねらいとした主催者による企画・コーナーなどを予定しております。

については、出展企業・団体のみなさまからのそれぞれの企画の趣旨に沿った製品の貸出のご協力を、以下の要領で募集いたします。

より多くの出展企業・団体のみなさまのご協力を、ぜひよろしくお願いいたします。

1. 障害児のための「子ども広場」

障害のある子どもの発育段階において、福祉機器の利用は成長や生活などの面で大きな可能性を拓けるものです。そこで、H.C.R. 2016においても、子どもむけ福祉機器の開発・普及、適切な利用を目的として「子ども広場」を特設会場内に設置し、これらの機器を集中展示するとともに、情報提供や相談の受付などを行います。

そこで、同広場に展示する子どもむけ福祉機器の貸出についてご協力いただける出展企業・団体を募集いたします。



なお、お貸しいただいた製品については、パネルに協力出展社名、小間番号、製品名を掲載して展示するほか、会期中に会場内で配付する「H.C.R.特別企画」パンフレットなどでご紹介をさせていただきます。

1. 貸出対象製品

H.C.R. 2016出展製品のうち、下記の製品分類に該当する子ども向けの福祉機器・用具

- ①車いす
- ②バギー・歩行器など
- ③いす・カーシート
- ④学習機器／コミュニケーション機器
- ⑤食器用具・食器／衣類・靴

2. ご協力の連絡〆切

2016年7月28日(木)までに「出展細則」内同封の「協力用紙」をご提出ください。

2. 車いす貸出コーナー

H.C.R.には高齢者や障害者の来場が年々増加しており、ホール内を移動する手段として車いすの貸出への要望も多くなってきています。そこで、H.C.R. 2016においても、来場者への配慮の一環として、車いすの貸出コーナーを設置いたします。

については、貸出用として使用させていただく車いすをご提供いただける出展企業・団体を募集いたしますので、ご協力をお願いいたします。

なお、会期中は、協力出展社名、小間番号、貸出する車いすの製品名、製品PRなどを記載したチラシを作成して同コーナーにて配布するほか、実際に車いすを使用された来場者にアンケートを依頼して、その結果を提供する予定でありますので、今後の製品開発などのご参考とさせていただきます。

1. ご協力いただきたい機種

自走車いす、介助用車いす、電動車いす

2. ご協力の連絡〆切

2016年7月29日(金)までに「出展細則」内同封の「協力用紙」をご提出ください。

それぞれの募集要項などの詳細は「出展細則」内に同封させていただいておりますので、ご確認ください。

H.C.R. 2015 国際シンポジウム報告書

「介護サービス従事者をいかに確保するか？
～ドイツ、米国、日本の比較から今後の課題と
その対策を考える」が発刊されました！

わが国の介護サービス従事者数は2013年現在で171万人とされていますが、団塊の世代が後期高齢期に入る2025年までに、さらに約80万人を確保しなければならないといわれています。

現在、介護サービス分野への人材の参入を促進するため、他産業より低いとされる処遇の改善と介護人材の計画的な養成・確保などの方策の拡充が喫緊の課題とされ、官民あげて取り組みがすすめられていますが、社会経済状況も反映して、効果が出ているとは言い難い状況が続いており、都市部においては介護サービス従事者の不足が恒常化しています。

また、経済連携協定(EPA)に基づき、経済活動の連携の強化の観点から、平成20年度から一部のアジア諸国から介護福祉士候補者の受入れが行われていますが、施行から一定の期間を経ており、今後のあり方について様々な意見が出されています。



そこで、H.C.R. 2015国際シンポジウムは、介護従事者など介護の専門職の役割機能、介護従事者の充足状況や処遇の現状と課題、介護従事者の確保策などについて、わが国が介護保険制度導入の参考としたドイツ、及び、移民労働者が多い米国の実情を理解し、今後のわが国の介護サービス従事者の確保策や介護サービスの充実方策について考える場として開催しました。

シンポジウムでは、ドイツからの報告では、かつては移民を受け入れることに消極的だった国が現在ではアジア諸国にまで領域を広げて介護人材を確保するためのパイロット・プロジェクトを展開している模様や受け入れを進めるにあたっての基本的な考え方が、また、アメリカからは、長年にわたってメディケイドという貧困者向けの公的医療扶助制度とメディケアという公的医療保険制度とで高齢者の介護をカバーしてきた状況から、将来の高齢化に向けて制度や人材育成のあり方の見直しなどが進んでいる模様や移民の積極的な参入を促そうとする独特の文化観が、さらには、日本側の状況・実例として、国の福祉人材確保対策検討会がとりまとめた4つの基本的な考え方による今後の取り組みの方向性と、都市部での介護施設経営の問題やマスメディアのあり方、教育と育成、キャリアアップにつなげるための雇用財源の確保など、現場が抱えるさまざまな課題と提言についてレポートがなされ、それぞれの立場からの情報交流や課題の共有化などが図られました。

○平成27年10月8日

参加者：253名

会場：東京ビッグサイト会議棟6階「605-608」

○シンポジスト：

【ドイツ、アメリカの状況報告など】

①ドイツ／グリット・ブレセケ (Dr. Grit Braeseke) 氏
ヨーロッパ・ヘルスケア・リサーチ&社会経済研究所
サイエンス分野担当部長

②アメリカ／ロビン・ストーン (Dr. Robyn Stone) 氏
米国リーディング・エイジ・センター事務局長、
元ホワイトハウス副次官補佐(障害者・高齢者・介護政策担当)、元米国保健福祉省次官補代行

【日本の状況報告など】

③施設現場の立場から／
湯川 智美 氏 社会福祉法人 六親会常務理事、本会監事

④研究者の立場から／
塚田 典子 氏 日本大学商学部教授、本会理事

○チューター：

近藤 純五郎 氏

一般社団法人医療経済研究・社会保険福祉協会理事長、
弁護士、元厚生労働事務次官

このたび、シンポジウムの内容を分かりやすくまとめ、報告書として刊行しました。以下の要領により販売いたします。

① 編著者、発行所：一般財団法人 保健福祉広報協会

② 企画：A5判／128頁

③ 価格：700円(税込、送料別)

④ 発行：2016年3月

※「送料」と、「代金引換」もしくは「代金振込」に関わる手数料は申込者負担です。

※詳しくは、本会ホームページ (<http://www.hcr.or.jp>) の「出版物のご案内」をご覧ください。

H.C.R. Webサイトがリニューアルしました！

平成28年6月30日(木)より、国際福祉機器展H.C.R. Webサイトがリニューアルしました。

H.C.R.の情報を集約するとともに、より見やすく、よりわかりやすいWebサイトを目指し、サイトの構成やデザインなどを一新しました！

新サイトでは、H.C.R. 2016の情報はもちろん、これまでH.C.R.や併催イベントにて発信してきた、保健福祉、介護、リハビリなどに関する資料やデータ、映像をまとめて掲載しています！

今後、H.C.R. 2016に向けて、より簡単な事前入場登録システムの導入やスマートフォンなどのモバイル端末への対応、HCRアプリとの連携強化も図ってまいります！

ぜひH.C.R.や福祉機器などに関する情報収集に新サイトをご活用ください！

URLはこれまでと変わらず、
www.hcr.or.jpでアクセスできます。

HCR

検索

HCRで検索!

7つのコンテンツと
出展社・プレス向け
ページで再構成

スマートフォンや
アプリからも
事前入場登録が可能

展示製品情報ページに
掲載中の製品をSNSで
シェア可能

これまでH.C.R.で
紹介した役立つ情報を
アーカイブ



ホームページ



併催イベント情報ページ



お役立ち情報ページトップ

HCRアプリを使えば、HCRと福祉機器がもっと身近に！

H.C.R.では、展示会当日だけでなく、普段から福祉機器を身近に感じてもらえるようスマートフォン用アプリを導入しています！



主な仕様・機能

- iOS, Android 対応
- 展示会やイベント、福祉機器の最新情報を随時配信！
- 展示会へのアクセスや場内マップ、イベントなどの情報をスマホでいつでも確認可能！
- H.C.R.Web サイトの「展示製品情報」ページに簡単アクセス！
- 事前に入場登録すれば、当日の会場での受付は専用レーンから楽々入場！

ダウンロードは
こちらから！



App Store
からダウンロード

※APP Storeに移動します。



Google Play
で手に入れよう

※Google playに移動します。

H.C.R. 2016 ビジュアルデザインが 決まりました

H.C.R. 2016のビジュアルデザインは、谷正也氏作の「蓄輪 LAIRIN」に決定しました。展示会ご案内用のポスターをはじめ、DMハガキ、福祉機器ガイドブックの表紙などのデザインとして使用させていただきます予定です。



開催要項 第43回国際福祉機器展 H.C.R. 2016

主催	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会
後援(予定)	厚生労働省 経済産業省 総務省 国土交通省 東京都 海外参加国大使館 (順不同)
協賛(予定)	NHK厚生文化事業団、読売光と愛の事業団、毎日新聞東京社会事業団、産経新聞厚生文化事業団、日本経済新聞社、東京新聞、東京新聞社会事業団、朝日新聞厚生文化事業団、福祉新聞社、日本赤十字社、福祉医療機構、鉄道弘済会、東京都社会福祉協議会、全国心身障害児福祉財団、長寿社会開発センター、シルバーサービス振興会、テクノエイド協会、日本理学療法士協会、日本作業療法士協会、日本アビリティーズ協会、日本障害者リハビリテーション協会、日本リハビリテーション医学会、新エネルギー・産業技術総合開発機構、みずほ教育福祉財団、キリン福祉財団、清水基金、みずほ福祉助成財団、松翁会、丸紅基金、三菱財団、損保ジャパン日本興亜福祉財団、中小企業基盤整備機構 (順不同)
期日	平成28年10月12日(水)～10月14日(金)【3日間】
会場	東京国際展示場「東京ビッグサイト」東展示ホール (東京都江東区有明3-11-1)
出展社数	530社(予定)【国内企業・団体460社、海外企業70社】
来場者数	12万人(予定)

※主な来場者：ケアマネジャー、ホームヘルパー、福祉施設職員、福祉団体・ボランティア関係者、医師、看護師、PT、OT、保育士、建築・設計関係者、製造業、販売業、行政、福祉・介護・医療・工学系学生、エンドユーザー、一般